

苫東環境コモンズの活動をまとめて報告



haskap

NEWS LETTER

～コモンズの現地から発信する～

# 勇払原野のSPIRIT

## コモンズの視線

ニュースレター第24号をお届けします。少し硬い話になりますが、日本の土地の所有の形が変わろうとしているようです。かつては原野商法などがはやったように、安い土地を買っておいて開発の対象になった際に不動産として売って儲けるという図式があり、北海道も狙われました。しかしそんな時代は終りに近づき、土地を持て余す時代が来ました。共有（コモンズ）やシェアエコノミーもそんな時代の声を背景にしています。

森林も例外ではありません。今年4月から「森林管理運営法」が施行されて、放置された森林は所有者の合意のもとで自治体がリードして保育や林業を行うこととなりました。まだ自治体で積極的に動き出したという話は聞きませんが、予想した通りの流れになってきました。これは見方を変えると他人所有の土地を地域の共有資源として「地域が保育する」コモンズ林業のひとつともいえるでしょう。自ら腕を磨いた住民が苫東コモンズのように組織的に担うのか、営利の事業体が入るのか、という違いはあります。根本のところでは、身近な林を里山のような森林公園に仕立てていくこと、林内で木が腐る前にしっかりと薪などに利用するストーリーを編み出すこと、などが求められてきます。

(事務局・草薙健)

HPのアドレス <http://hayashi-kokoro.com/commons00.html>

### TOPIC 1

#### 新刊『ハスカップとわたし』、その後



3月末に当NPOが7年越しで出版した『ハスカップとわたし』の反響をいくつか拾ってみます。ご承知のように、地元の2紙のほか、紙の街のちいさな新聞『ひらく』も2

回にわたるハスカップ特集で深く扱ってくれました。そのほか、6/14にはFM・AIR-Gが30分の番組制作のためにインタビュー録音依頼があって、6/23（日）午後6時半のゴールデンタイムに放送されました。

さらに、8月20日は札幌時計台の「時計台サロン」でハスカップと新刊を紹介する45分の講演を事務局の草薙が行いました。本の反響が大きかったのはハスカップの研究者で、ハスカップの背後にある社会性が見えてきたと言うものでした。また、一般からは、初めてのハスカップ全書だ、との声も聞こえてきました。

### TOPIC 2

#### 風倒木処理で薪生産量がアップ、9月終了



昨年の震災前後の大風被害は苫東全域に風倒木を生み出しました。

特に地域住民も往来する大島山林の風倒木処理が急がれ、NPOでは樹齢100年前後の大木が中心に根返りを起こしたことから、優先的に処理に当たった結果、作業が大幅に遅れ、9月上旬ようやく薪生産が終了しました。11月10日に始まった前期の薪作業に参加した人の総数は300人ちょうど。昨年の残りが

約7棚、新規に28棚がストックされており、ちょっとした薪長者になりました。

昨年来の悩みは、積まないでストックする間に薪や丸太が蒸れて木口に黒カビが生えること。折角の雑木薪の見た目が落ちるだけに、改善が求められますが、結論は作り過ぎないことのようにです。

### TOPIC 3

#### 空知で林業現場の研修



旭川、白老、阿寒湖・前田一步園、小樽方面の高川山林・余市のエコビレッジ、そして昨年の道南は銀婚湯方面に続いて、今年は身近な空知方面へ。会員の栗田さんが道庁の森づくり関係の仕事で手がけたり、関係した場所や個人を訪問する計画。宿泊は三笠の湯の元温泉。参加者は10名。森づくり研修の隙間の時間に、ワイナリーを二つとリトルロックヒルズ関係のガーデンング、翌日は三笠の博物館も視察しました。

初日午後は栗沢の6条植えの林業現場を視察。会員には珍しいホンモノの作業跡地の造林地で、とても勉強になったとの声が聴かれました。

写真は翌日、「女性が買ったヤマ」を見学。訪問地は東京で仕事をしていた女性が夫の故郷の岩見沢に来て、共同で山を安く買って発見の日々を送っている、というもの。そしてその日々の発見をうまく発信していて、エコでナチュラルな生活に憧れる多くの女性を引き付けている、という構図がわかりました。黙ってやればただのモノ好きですが、共感者を生むように発信するというスキルがあれば、ファンは潜在している時代で

思わぬ広がりに進みます。今までのケースを振り返れば、森は別荘への憧れに似て、一過性であることも多いのですが、「ヤマ・森」はある時期以降は放置しても勝手に育つという抜け道があります。

**TOPIC 4**

**今年もヒグマ発見相次ぐ**



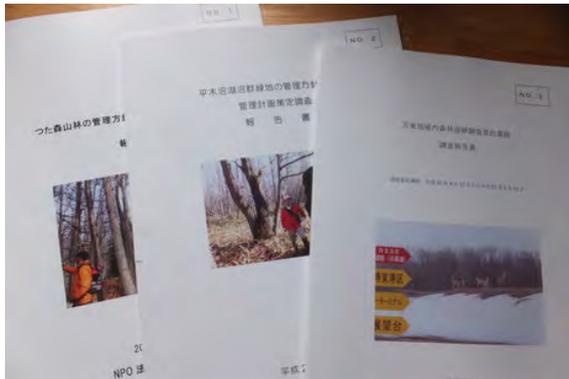
今年もヒグマ情報が相次ぎました。近年の目撃情報の場所と推移から言えば、苫東（地図ではほぼ線路に囲まれた右下部分）には冬を除いて4月ころから11月

ころまで、人々はヒグマと一緒に暮らしていると覚悟すべきでしょう。苫東に限れば、体調1m前後の個体と親子連れがいたことは確実で、さらにこのほかにも来ている可能性があります。

また、安平町の遠浅でも4月24日に確認されていて、これは前日に静川の橋で見つかったものと同一の可能性もあります。もしそうであれば、遠浅界限は厚真の三菱マテリアルの山からやってくる別群だとしたわたしの思い込みは撤回しなければなりません。

**TOPIC 5**

**苫東の森づくり報告書を冊子化**



当NPOはこれまで勇払原野にある苫東の樹林地の扱い方について、土地所有者から三回調査を依頼され、その都度、報告書をまとめましたが、調査従事者以外の多くの会員の目には触れる機会がほとんどありませんでした。この年明けに、広葉樹林の間伐と萌芽状況に関する3つ目のレポートを提出する際に、これは会員同士で議論するための内部資料として冊子化しようということになりました。そして出来上がったのが上の3部作です。

特に3冊目は、NPO苫東コモンズが総力で関わったシカの食害試験と、今後の密度調整の頻度などにも言及した重要な提言をしています。勇払原野の苫東緑地における広葉樹林の扱いについて、適切な指針にた

どり着くために、ローカルな現場を目の前において実際に利活用しながら考察するのは、ある種、地域活動するものの醍醐味ではないでしょうか。

11月9日にはこの3冊をテキストにして、シカの専門家・梶光一氏（会員）に東京から来てもらい、お話を聞いた後、質疑と意見交換を行う予定です。

**31年5月以降の主な活動**

\*行事末尾の数字は参加者数

- 5/04 sat 薪割りと薪積み 9 @大島山林
  - 5/11 sat 薪割りと薪積み+ 薪会員への薪運搬 9
  - 5/17 fri 「ハスカップとわたし」の出版記念の会 13
  - 5/18 sat 薪割りと薪積み+サイン修復など 5
  - 5/25 sat 薪割りと薪積み+ドローン動画制作作業 5
  - 6/01 sat 薪割りと薪積み 7
  - 6/08 sat 薪割りと薪積み&林道の刈り払い 11
  - 6/15 sat 薪割りと薪積み & 林道の刈り払い 5
  - 6/23 sun 薪割りと薪積み 4 & 林道の刈り払い FM放送
  - 6/29 sat 森づくり研修~6/30 10
  - 6/30 sun 日本野鳥の会のシンポジウム 1
  - 7/04 thu ハスカップサンクチュアリでの動画撮影 2
  - 7/06 sat 薪割りと薪積み 8 コモンズ研究会案内
  - 7/13 sat 薪割りと薪積みとフットパスの刈り払い 3
  - 7/15 薪カバーなど 1
  - 7/20 sat ハスカップ摘み 27
  - 7/27 sat 薪割りと薪積みとフットパスの刈り払い 4
  - 7/28 sun " 2
  - 7/29 mon 梶先生と勉強会の打ち合わせ
  - 8/03 sat 大島山林の薪作りと静川の刈り払い 5
  - 8/10 sat " 3
  - 8/11 sun " 2
  - 8/20 tue 「時計台サロン」でハスカップ報告
  - 8/24 sat 薪割り終了、薪積み 4
  - 8/31 sat 薪積み 7
  - 9/01 sun 雑草片付けなど 2
- 2018/11/10~2019/9/01 間伐・薪作り稼働人数 300人

**編集後記**

■胆振東部の大地震からちょうど一年が経ち、ままならない住宅地の復興とともに、崩壊した斜面林を植林するのか放置するのか、検討されているようです。もはや一自治体の知見で対応できるレベルではありませんし、なにか、日本という災害頻発国の哲学ともいえるものが求められているような感があります。こと、グリーン・インフラの視点に立つと河川を旧流路に戻す行為に似て、自然遷移に任し広葉樹林施業に傾斜するのではないかと。となれば、苫東コモンズでも他人事ではなくて大いに注視するところとなります。

■9月10日、北大の農学部の院生が研修に来ました。土地の共有とコモンズ林業の両面からお話をしましたが、うまく伝わったかわかりませんが、もはや現実には大学では教わらない応用編に来ていえると言えます。質疑と意見交換でそのあたりが如実に出ました。

■来年1月で苫東コモンズは10周年を迎えます。ただどしくスタートしたコモンズ活動でしたけれども、ローカルな今に徹しながら、動きながら考え少しずつ発信してきたと言えます。地域の多くの人々にはほとんど関心の及ばないことがテーマですが、それが良かったと思います。コツコツ心静かに積み重ねることができました。関係者に感謝申し上げます。(草苺)

**お問い合わせ**  
**NPO 法人苫東環境コモンズ 事務局**  
 草苺 [kt-884-556@nifty.com](mailto:kt-884-556@nifty.com)  
 携帯 090-6999-2765